

Low Profile PCI 対応 絶縁型 RS-422A/485 シリアル I/O ボード 1ch タイプ COM-1PD(LPCI)H



※製品の仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

■RS-422A/485 シリアル通信、最高 921,600bps に対応

本製品の COM ポートは、最高 921,600bps に対応しています。

COM-1PD(LPCI)H は、RS-422A/485 準拠の COM ポートを 1ch 搭載しています。

■Windows/Linux の標準 COM ポートとして使用可能

当社デバイスドライバ COM-DRV と組み合わせることで、パソコン本体の COM ポートと同様に使用することができます。Win32 API における DCB 構造体を用いた通信や Linux 標準のシステムコールに対応しています。また、ハードウェアの動作確認や機器との通信テストが行える診断プログラムも提供しています。

■各チャネル間およびパソコン間を絶縁、すべての信号線をサージ保護

各チャネル間およびパソコン間は、電氣的に絶縁しています。

パソコンと外部回路間の電氣的ノイズを防ぐことができ、さらにチャネル間の干渉を防ぎます。また、すべての信号線はサージ保護されているので、サージによるパソコンの誤動作や破損の心配が不要です。

■最大 16 枚までのボードを増設可能

1 台のパソコンに同じ型式のボードを最大 16 枚まで実装できます。

■各チャネルに送信 128byte 受信 128byte のバッファメモリを搭載

各チャネルに送信専用 128byte、受信専用 128byte のバッファメモリを搭載しています。バッファメモリは FIFO 形式で、高速な通信やデータ送受信時の CPU 負荷軽減に役立ちます。

■Low Profile サイズ/スタンダードサイズスロットに対応(ブラケット同梱)

Low Profile サイズスロット/スタンダードサイズスロットに対応した各ブラケットを同梱しています。スタンダードサイズスロットに実装する場合は、スタンダードサイズブラケットに交換します。

■RS-422A/485 制御線をソフトウェアで制御・監視が可能

RTS+, RTS-, CTS+, CTS-の制御線をソフトウェアで制御や監視が可能です。

本製品は、RS-422A/485 準拠のシリアル通信機能を拡張する絶縁型の Low Profile サイズの PCI バス対応ボードです。

COM-1PD(LPCI)H は、RS-422A/485 準拠の COM ポートを 1ch 搭載しています。

パソコンとのバスラインを絶縁、通信ポートにサージ保護回路を内蔵した耐ノイズ性を強化しています。各チャネル、送受信別に 128byte の FIFO バッファを搭載、921,600bps までのボーレートに対応しています。

Windows/Linux に対応したドライバを用意しています。

※本内容については予告なく変更することがあります。

※最新の内容については、当社 Web サイトをご覧ください。

※データシートの情報は 2025 年 6 月現在のものです。

仕様

機能仕様

項目	仕様
チャネル数	1ch
入出力仕様	RS-422A/RS-485
絶縁仕様	バス絶縁
絶縁耐圧	バス間: 300VDC
伝送方式	非同期シリアル伝送(全二重/半二重)
ボーレート	30 - 921,600bps ※1※5
データ長	5、6、7、8 ビット 1、1.5、2 ストップビット
パリティチェック	イーブン、オッド、ノーパリティ
搭載 LSI	162850 相当品 (FIFO バッファは、各チャネルに送信用 128byte、受信用 128byte)
信号延長可能距離	1200m 以内 ※2※3
割り込み	1 点使用
I/O アドレス	8 ビット×32 ポート占有
消費電流	5VDC 終端抵抗 OFF 時: 200mA(Max.) / 終端抵抗 ON 時: 300mA(Max.)
PCI バス仕様	32bit、33MHz、ユニバーサル・キー形状対応 ※4
外形寸法(mm)	121.69(L)×63.41(H)
質量	60g

※1 高速でデータ伝送する場合は、ケーブルの材質や環境などによって正常な伝送ができない場合があります。

※2 通信距離とボーレートの関係の一例を以下の表に示します。

通信距離	ボーレート
300m	115,200bps
600m	57,600bps
900m	19,200bps
1200m	9,600bps

通信ケーブル: 28AWG・ダブルシールドケーブル・各信号の+, -はツイストペアになっています。

※3 終端抵抗値および電線径による最大通信可能距離を下表に示します。

本製品に内蔵している終端抵抗値(100Ω)と RS-422A/485 で一般的に使用される終端抵抗値(120Ω)の場合を示しています。

終端抵抗値(100Ω)および電線径による最大通信可能距離

終端抵抗(Ω)	電線径	最大通信可能距離(m)
100	AWG28	400
	AWG26	700
	AWG24	1100
	AWG22	1200

終端抵抗値(120Ω)および電線径による最大通信可能距離

終端抵抗(Ω)	電線径	最大通信可能距離(m)
120	AWG28	500
	AWG26	800
	AWG24	1200
	AWG22	1200

※4 本製品は拡張スロットから+5V 電源の供給を必要とします(+3.3V 電源のみの環境では動作しません)。

※5 基板番号によりボーレート下限値が変化します。『基板番号による相違点』を参照ください。

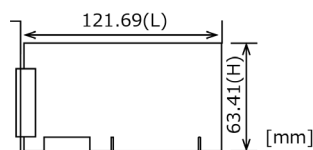
設置環境条件

項目	仕様
使用周囲温度	0 - 50℃
使用周囲湿度	10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
浮遊粉塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
規格	VCCI クラスA、CE マーキング(EMC 指令クラスA、RoHS 指令)、UKCA

同梱品

- ☐ 本体…1
- ☐ スタンダードサイズブラケット…1
- ☐ 必ずお読みください…1

外形寸法



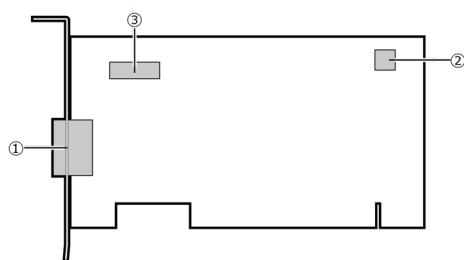
外形寸法の (L) は、基板の端からスロットカバーの外側の面までのサイズです。

サポートソフトウェア

名称	内容	入手先
Windows 版 シリアル通信ドライバ COM-DRV(WDM)	Windows 上で、本製品をパソコン本体の COM ポートと同様に使用頂くためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、OS 標準の Win32 API における DCB 構造体を用いた通信および NET における SerialPort クラス、Python における pySerial モジュールに対応しています。C# や Visual Basic .NET、Visual C++、Python などの各種サンプルプログラムや動作確認用に便利な診断プログラムが付属しています。	当社 Web サイトよりダウンロード ※1
Linux 版 シリアル通信ドライバ COM-DRV(LNX)	Linux 上で、本製品をパソコン本体の COM ポートと同様に使用頂くためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、Linux 標準の tty ドライバに準拠しており、Python における pySerial モジュールに対応しています。gcc(C/C++) や Python の各種サンプルプログラムを付属しています。	当社 Web サイトよりダウンロード ※1

※1 以下の URL よりダウンロードしてご使用ください。
ダウンロード : <https://www.contec.com/jp/download/>

各部の名称

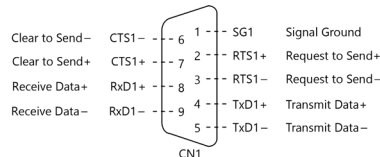
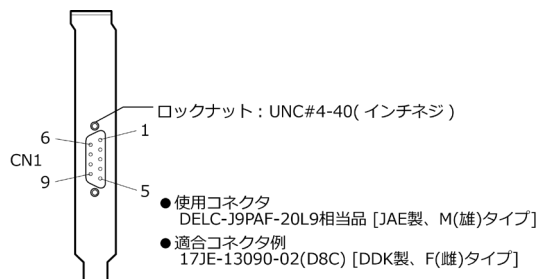


No.	名称
①	インターフェイスコネクタ(CN1)
②	ボード ID 設定用スイッチ(SW1)
③	データ転送モード、ターミネータ設定用スイッチ(SW2)

外部機器との接続方法

ボード上のコネクタから直接接続する

ボード上のコネクタから直接外部機器に接続する場合は、市販のケーブルなどを使用してください。

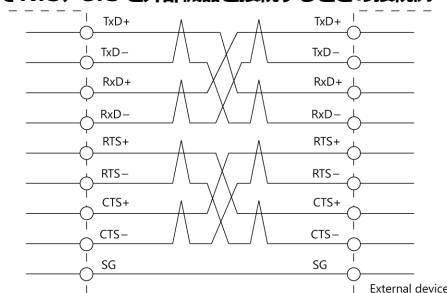


ケーブルの種類と接続例

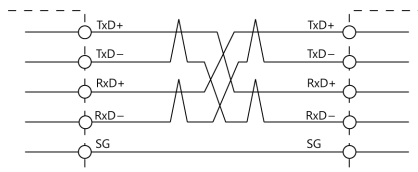
本製品でのケーブルの接続例を下図に示します。

RS-422A/485 インターフェイスの伝送は、2 線間(+、-)での相対的な電位差が信号として意味を持つ差動方式です。対ノイズ性を向上させるために、なるべくツイストペアケーブル(平衡線/より対線)を使用してください。

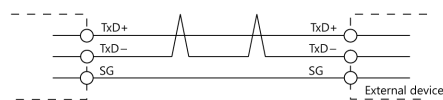
全二重モードで RTS、CTS を外部機器と接続するときの接続例



全二重モードで RTS、CTS を自己ループさせるときの接続例



半二重モードでの接続例



注意

誤った結線で接続すると、接続機器や本ボードの故障原因になります。

基板番号による相違点

COM-1PD(LPCI)H は、基板番号により仕様上の相違点があります。その相違点を以下に示します。

COM-1PD(LPCI)H

項目	基板番号	
	No.7303, No.7303A, No.7303B, No.7303C	No.7303D 以降
ボーレート	2 - 921,600bps	30 - 921,600bps